

## FavorPrep™ PCR Clean-Up Mini Kit

Cat: FAPCK 000 (4 回分) / FAPCK 001 (50 回分) / FAPCK 001-1 (200 回分) / FAPCK 001-2 (300 回分)

本製品は研究用です

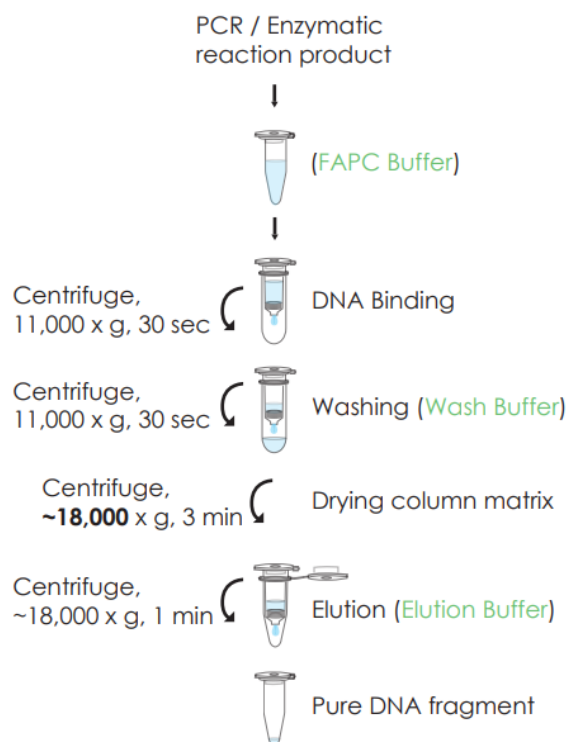
v 221024

### 🌈 キットの内容

	FAPCK 000 (4 preps_sample)	FAPCK 001 (50 preps)	FAPCK 001-1 (200 preps)	FAPCK 001-2 (300 preps)
FAPC Buffer	3 ml	30 ml	110 ml	180 ml
Wash Buffer (concentrated)*	1 ml	12.5 ml	45 ml	50 ml × 2
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	20 ml	20 ml
FAPC Column	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Collection Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
<b>*添加する 96-100%エタノール量</b>				
Wash Buffer (concentrated)	4 ml	50 ml	180 ml	200 ml

### 🌈 基本情報

構成	スピナラム (シリカメンブレン)
結合量	20 $\mu$ g
サンプル量	最大 100 $\mu$ l (PCR 産物)
DNA サイズ	65 bp ~ 10 kbp
回収率	85 ~ 95% (PCR 産物)
操作時間	≤ 15 分
溶出量	≥ 20 $\mu$ l



### 🚩 重要事項

- 1) 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
- 2) Wash Buffer は使用前にエタノール (96-100%) を加えてください。
- 3) 酵素反応液から濃縮・精製したサンプルは最大 100  $\mu$ l、DNA 断片は最大 5  $\mu$ g です。
- 4) 遠心分離は、11,000~18,000  $\times$  g で行ってください。

### 🚩 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 10~100  $\mu$ l の PCR 産物 または 酵素反応液をチューブ (お客さままでご用意ください) に移し、サンプル量に対して 5 倍量の FAPC Buffer を加え、ボルテックスで混和します。  
例) 50  $\mu$ l のサンプルに対し、250  $\mu$ l の FAPC Buffer を加える。  
\* サンプルの最大量は 100  $\mu$ l です。(オイルを除く) 100  $\mu$ l 以上のサンプルを処理する場合は、複数のチューブを使用してください。
2. FAPC Column を Collection Tube へ取り付けます。
3. サンプル混合物を FAPC Column へ加えます。11,000  $\times$  g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
4. 600  $\mu$ l の Wash Buffer (エタノール添加) を FAPC Column に加えます。11,000  $\times$  g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。  
\* Wash Buffer は開封時にエタノール (96-100%) が添加されていることを確認してください。
5. 最大速度 (~18,000  $\times$  g) で 3 分間遠心分離し、FAPC Column を乾燥させます。  
重要ステップ! : この操作は酵素処理を阻害する物質を取り除くために必要です。
6. FAPC Column を Elution Tube (キットに付属) へ取り付けます。
7.  $\geq 20$   $\mu$ l の Elution Buffer または ddH<sub>2</sub>O を FAPC Column の膜中央へ加え、1 分間静置します。  
重要ステップ! : 効率よく溶出させるため、Elution Buffer が完全に吸着したことを確認してください。  
重要: 20  $\mu$ l 以下で溶出しないください。収量が減少します。
8. 最大速度 (~18,000  $\times$  g) で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

### ✚ トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	解法
低収量	サンプル量が多い (100 $\mu$ l 以上)	100 $\mu$ l 以上のサンプルを処理する場合は、複数のチューブに分けて処理してください。
	溶出ステップに不備がある	Elution Buffer や ddH <sub>2</sub> O の pH が 7.0-8.5 であることを確認してください。
		Elution Buffer を FAPC Column の膜中央へ加え、完全に吸着させてください。
DNA サイズが 5 kb 以上の場合	Elution Buffer を 60°C に温めてから使用してください。	
精製した DNA がその後のアプリケーションでよい結果が出ない	塩が残留している	洗浄ステップを 2 度行ってください。
	エタノールが残留している	洗浄ステップの後、FAPC Column を 3 分間遠心分離し、乾燥させてください。